

## 「当院における乳房温存療法の治療成績に関する後方視的研究」

ご協力をお願い

今回、当院において乳房温存療法を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させて頂きたいと考えています。

### 研究の目的

現在の乳癌初期治療において、乳房に対する外科治療は、乳房全切除術と乳房温存療法が標準術式となっています。当院でも 1991 年より、適応条件を満たす場合には、乳房温存療法を行っています。

今回、当院で乳房温存療法を受けられた方の治療成績について検討することで、よりよい治療選択ができると考え研究を行います。

### 研究の方法

- ・対象となる患者様について

1991 年～2021 年 12 月に当院乳腺外科で乳房温存療法を受けられた患者様を対象とします。

- ・方法について

上記対象となる方の診療録より情報収集し、治療期間、治療効果、予後などについて統計学的に検討します。

- ・研究に用いる試料・情報について

性、年齢、初回発病年齢、罹患期間、臨床検査、放射線検査、疾患関連情報(術式、Stage、病理学的検査、治療歴、転移臓器など)、などです。

- ・資料の管理について

情報は全て匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究の参加に関しては、本揭示をもって文書同意に代えますが、ご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者様に不利益が生じることは一切ありません。この研究計画についてご質問などがある場合は下記までご連絡ください。

連絡先：京都第一赤十字病院 乳腺外科 北野 早映

電話：075-561-1121(代)